

新山協ニュース

新潟県山岳協会ホームページ <http://www.echigo.ne.jp/~nma/>

会長 橋本正巳
新潟県山岳協会
上越市南城町2-3-37
TEL 025-524-7215

事務局 諏訪恵一
長岡市高畑町610-10
TEL 0258-35-4373

編集 新山協ニュース編集
委員会代表 浅野巨寛
TEL 0258-52-3998



平成18年度 親睦登山に参加して

朝路の会 浅野 巨寛

恒例となっている、2006年度親睦登山が、主催 新潟県山岳協会・主管 総務委員会・秀峰山岳会の協力を得て、さる10月28日(土)・29日(日)の両日の予定で開催された。28日下田村・早水『よつてけ邸』において講演と親睦会が行われ、翌日29日には会場を下田村の白根山に移し親

睦登山が行われた。

28日は受付を終了後の4:00時から七沢委員長の進行で始まった。今回の講師である下田村山岳会の蒲澤新治氏の講演にさきがけて、山岳協会の橋本会長から2順目国体を控えて各団体への協力要請および、日本山岳協会山岳共済や山行中に於いて、まんがいち発生した事故も状況によつてはリーダーの責任を問われる場合に対処できる特別共済など参考になる話があった。

下田白根山山頂にて

塊・守門岳周辺の山域を熟知されておられる、下田村山岳会の蒲澤新治氏の講話となった。配布された大阪で精密な下田山岳概略図(1/50,000)と守門岳・八十里越・吉ヶ平案内図(1/30,000)をもとに、この山域の道路状況・地形・積雪状況・溪相・登山道の説明、特長を述べられた。

この山域の地図をあらためて眺めてみると頂稜までの登路の破線が少なく、積雪期・残雪期以外は入山困難ということがわかる。標高のわりにはまだまだ魅力的な山域といえる。

講話のなかでのこの地域に生息確認されるイヌワシをはじめ種々の動植物の貴重な生態の話も、環境省が国内で絶滅を危惧される「ヤンバルクイナ」や改めて『レッドリスト』絶滅危惧種に追加された「オオサンショウウオ」など57種などを思い合わせて、自然環境の大切さを思い知らされた。

全国的に大きな問題となつた各種動物たちの里や町への出没も、この地区でも例外ではないようで、熊だけでも10月まで8頭は捕獲されたそうである。

例年にならぬブナの実の不作に加え、コナラの成木の赤枯れや立ち枯れがめだちドングリが少ないこと、アケビや山ブドウなどすべてが不作だったことで奥山から人里の方へ移動した為と思われるのとことだ。それにともない猿なども人里の食物に慣れてしまい食性が変わってしまった結果が各地で見られるように市街地にまでの出没と思われる。



本日の収穫

またこの山域で悩まされる山ヒルは血を吸わないと比較的短命だが、血を吸った場合1年は生息して1回に50〜60匹産卵するのだそう。そのヒルも移動する動物に付着して、生息地も拡大しているとのことだ。

翌29日は参加者23名に加え当日の参加者も加わり7:00頃白根山へ移動、登山開始となる。幸い天候はなんとか持ちそうだが、なかなかの急登だ。

折りも折、キノコの季節で両側には毒性をとやかく言われている、スギヒラタケが見事だ。多分、縄文以前から食べられていたキノコだから、大丈夫との意見が圧倒的だが、誰も採らず其の儘「山の神」

「熊狩の眺め場」を経て白根山の山頂（918m）に9：25分に到着する。東側から南側に展開する粟が岳から青里岳、矢筈岳が見事だ。途中キノコ狩に興じている人達を待たせ、空模様が怪しくなってきたため、頂上にいる人達のみで集合写真を撮影して七沢

平成18年度

救急法講習会 開催される



救急講習会の模様

委員長の声掛けで流れ解散となる。登ってくる阿部副会長の好意を真に受けて、途中木の枝にさがっていった袋から相当量のキノコを失敬する。今回も非常に参考になり、有意義な親睦登山であった。もちろん下の方のスギヒラタケはきれいになくなっていった。

さる11月19日（日）新潟県山岳協会主催・遭難対策委員会主管で、救急法及びロープワーク講習会が開催された。午前中は燕・弥彦総合事務組

合吉田消防署において救急法を、午後からはロープワークを弥彦山へ会場を移しての日程で行われた。吉田消防署では8：30分からの受付、定刻の9：00時には参加予定者全員も集合して、楡井遭難対策委員長の挨拶と講習内容の説明があった。平成17年に救急法に改正があり、救命処置の方法も当然変更があり今回の講習の重要さが感じられた。参加者は各8名のパーティーをつくり、それぞれに吉田消防署の救急救命士が付き講習

17年改正となつてからはAED使用可能となったことから、併用した心肺蘇生法を学ぶことが今回の講習の主体で過去救急法の講習を受けた人達も熱心に受講していた。今迄の蘇生法の胸骨圧迫の回数も多くなり、以前とは大分違ってきていた。ダミー人形を使用し午前・正午まで、各パーティー18人だとかなり回数、処置の練習ができたのではないだろうか。

○心肺蘇生法とAEDを使用した救急法の流れとしては
 (1) 反応を確認する【反応なし】
 ↓
 (2) 助けを呼ぶ【119番通報とAED手配】 ↓ (3) 気道の確保 (4) 呼吸の確認 ↓
 【正常な呼吸（普段どおり）】
 ↓している ↓ 【回復体位をして様子を見守る】 【正常な呼吸】 ↓していない ↓ (5) 人工呼吸 2回 ↓ (6)・(7) 胸骨圧迫 30回と人口呼吸 2回の組み合わせをくり返す ↓ (8) 【AED到着】 ↓ 電源を入れる。電極パッドを装着 ↓ (9) 【心電図の解析】 ↓ 必要あり (10) 【電気ショック1回】 ↓ (11) その後ただちに胸骨圧迫と人口呼吸を再開・5サイクル（2分間）。【必要なし】 ↓

(12) ただちに胸骨圧迫と人口呼吸を再開・5サイクル（2分間）

救急法の流れとしては記載した旨だが、乳児などでは若干の違いがあり、講習会の参加者に問い合わせたり、自身が受講をして実際に体験して見たい。今回の講習会の終了後には「普通救命講習修了証」も出ることとで参加者全員は正午までひたひたに汗ばむほど熱心に受講していた。はじめはダミー人形にぎこちなく接していたが、終了の頃には見違えるような体の運びとなり、かなり専門的な質問も多くなるようになった。燕・弥彦総合事務組合で参加者に配布した「応急手当講習テキスト」（救急車がくるまでに）をもとに所属山岳会でも機会あるごとく、復習伝達していきたいとおもう。

午後は参加者全員（45名以上となった）1時より弥彦スカイライン付近に会場を移し、周辺の斜面を利用した講習となつた。



指導する金子副委員長

主としてプルアップの際のロープワークと斜面にセットしたロープに「加重1/2や1/3」などの説明をうけた。「加重1/3」以下になるとシュリンゲやカラビナのセットが複雑になり理解するのに時間がかかる。1/3・1/6以下加重の場合の吊り上げは楽だが、吊り上げる距離が短くなるのだけは理解できた。4時までたっぷりの時間を掛けた分理解した参加者も多かったと思う。年に何回かの機会をもって復習して、シュリンゲの太さや長さなども試してみたい。あやしかった空模様もなんとか持って、実り多い救急法講習会に参加させてもらい無事終了することができた。

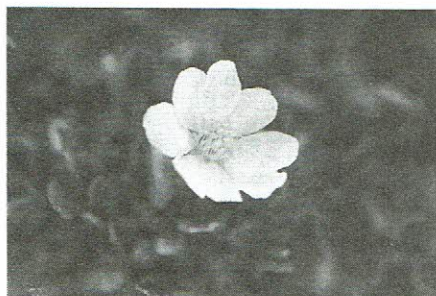
会報編集 浅野巨寛

越後の山に見られる 変種植物

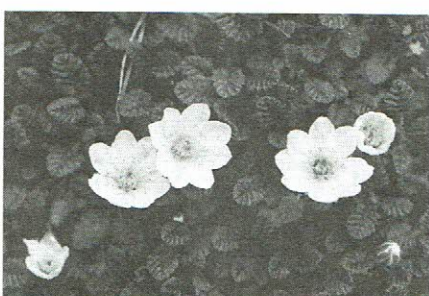
むささび会 加藤 明文

◆ チョウノスケソウ属 Dryas

⑨ チョウノスケソウ



母種ズイルバー・ヴォルツ
スイスアルプス 7・10



チョウノスケソウ 白馬岳
7・1

白馬～雪倉岳の岩壁に張りついている。母種はスイスアルプスの(独)ズイルバーヴォルツエで銀色が根づくの意。種名 octopetala は八弁の意でまったく同じであるが、葉は粉をかぶったように白っぽい。本種は学名「アジアの」でカムチャッカにも産し、またカナディアンロッキーにも産し(英) white Dryad は白いドリユアスで Dryas はギリシャ神話より森の妖精の意。

『やぶ道』⑧『どこに命かける

杉本 敏



輪駆動切り替えである。後は誘導係が居てもバックできる状態ではない。猪突猛進するのみの心境。

金城山の太月コースが、天池まで車が入ることをガイドブックで知った。少しでも高い所から登山を開始したら、楽が出来ると「のめし」な考えが年々成長していく。秋に出掛けたら、両側から草が伸びていて、道の中央部を確認して見えない路肩を外さないように車を進める。電光石火の曲がり道は何回もハンドルを切り返す。急坂でスリップして前進できない場面になった。

右側は遙か下まで落ち込んだ斜面。左側は壁になっていて、四輪駆動に切り替えが必要になる。下車するためサイドブレーキを引く。自重で車がバックする。慌てる、慌てる。エンジン切ってギアを入れ、サイドブレーキを引いて、相棒にフットブレーキを踏んでもらう。四苦八苦の四

途中ですれ違った女性運転手は、「とにかく凄いだです」と教えてくれたが、「行かない方がよい」とは言わなかった。道を作った人には申し訳ないが、車で天池へは行かない方がよい。

行くなら、小型で車高の高い車、四輪駆動であること。草が伸びていない時期で、雨天は絶対ダメ。鎖場通過よりスリリングな体験であった。登り2時間10分、下り1時間5分の登山前に命を懸けてしまった。

雲取山へ後山林道三条の湯経由で入山した時、帰りの林道に頭大の石が2個落ちていて肝を冷やしたことがある。注意しても防ぎようのない場合もあるが、降雨時やその後しばらく奥山への車乗り入れは、中止する気持ちが大事とおもう。

海外・国内旅行、主催・手配



ユニオン航空サービス

国土交通大臣登録旅行業第553号・IATA代理店 (社) 日本旅行業協会会員
本社 新潟県長岡市幸町1丁目3番5号

<http://www.uks.co.jp>

- 長岡営業所 〒940-0094 長岡市幸町1丁目3番5号 電話 (0258)33-7123
一般旅行業取扱主任者 森 隆樹
- 新潟営業所 〒950-0916 新潟県米山3丁目2番11号 電話 (025)246-2266
一般旅行業取扱主任者 中島 豊

2006年

県内岳人の未踏峰登頂をアシスト
西寧・格尔木～ラサ 5,100mを征く
天空列車(青蔵鉄道)
外国人一番乗りを果たす

行事案内

新潟県山岳協会 新年会のご案内

山岳会各位におかれましては、いつも協会の事業に参画され格別なるご支援を頂き、有難うございます。新年会開催についてご案内いたしますので宜しくお願い申し上げます。

記

1 期 日 平成19年1月27日(土)
午後2:00受付

2 会 場 新潟第一ホテル
新潟市花園1-3-12

3 新 潟 新潟駅より徒歩5分
025-243-1111

4 会 費 6,500円
(当日会場にて徴収)

5 申 込 先 七沢恭四郎
〒943-0154
上越市稲田4-12-31
☎&📠025-523-7661

締切日 平成19年1月20日(土)
編集 伊藤明德

※FAXまたはハガキ(20日着信)にてお申込み下さい。

◇役員・理事・監事 各位

当日は新年会開催前に理事会を行いますので12:30分までご出席、ご参加下さい。

賛助会員入会のお礼

次の皆様から、ご入会、ご継続を頂きましたので、ご報告させていただきます。

外山 禎一(山友会99)
*10月20日~12月20日現在の
ご入会、ご継続状況です。

(敬称略、順不同)

新潟県山岳協会
会 長 橋本 正巳
理 事 長 片桐 一夫
総務委員長 七沢恭四郎

寄贈図書



高田ハイキングクラブ
月報 なんば
(No.110~118)

A4版 10頁~12頁

内容 例会：行事案内：山行計画：山行報告：地域研究：紀行文など

(会長 市村英明
編集 伊藤明德)

編集こうき

▲師走も半ばなのに暖冬の手報が当り初雪も降るようすもない。例年は初雪がきて慌ててつけるスノータイヤも今年に限って早く装着したが、まだ威力を発揮する機会がない。何年か前までの雪を待ち焦がれたところが懐かしいような気がする。高騰した灯油の使用量が少なくてすむと家内は喜んでいいる。

▲例年選ばれる漢字が今年「命」だった。「命」の字を選ばねばならないほど「人命軽視」の事件があいついだ。盆地をかこむ山々の雪のつかない木立がむしる寒々と感じられる。

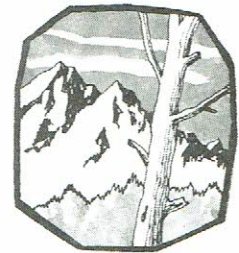
▲児童文学の灰谷健次郎さんが亡くなった。「兎の眼」の中の主人公、ハエ博士の鉄三は寡黙でむしろ要領のわるい子だ。周りの子たちも貧しい部類の子供達が多い。むしろ貧しいくらいが生々と男らしく生きれるのかも知れない。

▲さそいをうけて出かけた菩提寺山と白ヶ森山、時折降る雨も傘でしのげた。迎え入れられた白ヶ森山の麓の山荘は、心の中が豊かになる、語り合えた一夜だった。一服の清涼剤のような小さな旅に感謝。
(会報編集 浅野)

山への想い

過酷な厳冬期の山に挑む

県内岳人の冬山装備をアシスト



登山・アウトドアの専門店



新潟市東大通2丁目5番1号 ☎(025) 243-6330(代)

登山・ハイキング・クライミング テレマーク&山スキー



パーマーク
長岡市西宮内2-97(長岡市役所裏通り)
TEL0258(37)1200-FAX0258(33)1164
●営業時間/AM10:30~PM8:00水曜定休

<http://www.parrmark.co.jp>